

かわら版あおば消防通信 春号

令和5年3月 発行：青葉消防署 協賛：青葉火災予防協会

令和4年の火災と救急状況

〈青葉区の火災状況〉

(件)

		令和4年	令和3年	増△減
件数		32	40	△8
出火原因	こんろ	7	8	△1
	たばこ	5	4	1
	放火(疑い含む)	4	2	2

青葉区内の火災は32件発生し、令和3年より8件減少しました。

主な出火原因は、こんろ7件、たばこ5件、放火(疑い含む)が4件でした。

※こんろを使用する時は、火の取り扱いには注意しましょう。

〈青葉区の救急状況〉

(件)

		令和4年	令和3年	増△減
件数		15,005	12,329	2,676
種別	急病	10,426	8,236	2,190
	交通事故	582	579	3
	一般負傷	2,758	2,382	376
	その他	1,239	1,132	107

青葉区内の救急件数は15,005件、横浜市内の救急件数は244,086件と過去最多を記録しました。

※急な病気やケガで救急車を呼ぶか悩んだ時は



#7119

または 045-232-7119



救急受診ガイド



横浜市救急受診ガイド



※数値は速報値であり、確定値ではありません



消防職員が
希望する高齢者のご自宅に
防災訪問します!

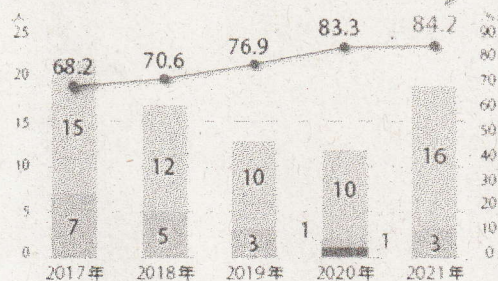
申込みませんか?

イラスト(企)エコ・アド



横浜市の住宅火災による死者内訳

※65歳以上 65歳未満
不明 → 65歳以上の割合



高齢者が占める割合が増加しています!

防災訪問を希望される高齢者のご自宅に消防職員が伺い、ご家庭の中に潜んでいる火災の原因となるリスクについて説明を行うなど、住宅防火に必要な対策をアドバイスします。

訪問対象

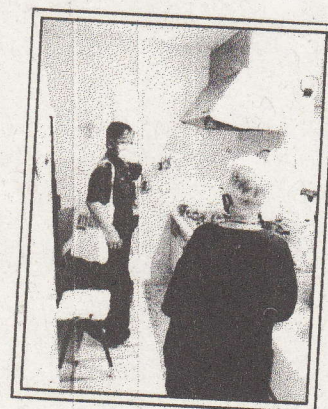
区内の高齢者世帯

訪問時間

平日の10時～16時
1軒当たり10分～15分程度

実施内容

火災予防のポイントをお話します



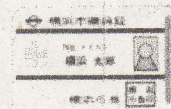
～住宅用火災警報器の寿命は約10年～
古くなったものは交換しましょう

消防職員による

住宅用火災警報器の取付支援

住宅用火災警報器の取付作業が困難な高齢者や障害のある人の代わりに消防職員が無料で取り付けます。

住宅用火災警報器は、量販店等でご自身でお買い求めください。



訪問する消防職員は、制服または活動服を着用し、職員証を携帯します。

【問合せ先】青葉消防署総務・予防課予防係

☎045-974-0119